

建設業の環境自主行動計画第4版の概要

2007.06.11

環境で新たな豊かさを創出する建設業

- 美しい地球と未来の子供達のために -

(社) 日本建設業団体連合会
(社) 日本土木工業協会
(社) 建築業協会

会員企業の行動計画 (環境経営を充実・環境負荷低減活動を実践)	3団体の行動計画 (会員企業の活動を支援・3団体の目標を設定・フォローアップ)
--	--

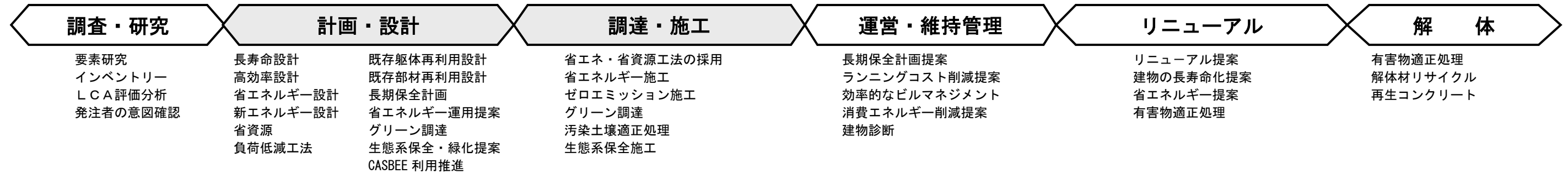
<p>環境経営の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇環境リスクの低減 ◇EMSの導入・継続的改善および環境情報公開の促進 ◇環境社会貢献の促進 	環境経営	<p>環境経営の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇環境リスクの低減 ◇EMSの導入・継続的改善および環境情報公開の促進 【環境情報公開企業数を2010年度までに会員企業数の50%】 ◇環境社会貢献の促進
--	-------------	--

<p>地球温暖化対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇施工段階におけるCO2の排出抑制 <ul style="list-style-type: none"> ・建設発生土の搬出量の削減および搬送距離の短縮 ・アイドリングストップおよび省燃費運転の促進 ・重機・車両の適正整備の励行 ・省エネルギー性に優れた工法、建設機械、車両の採用促進 ・高効率仮設電気機器等の使用促進 ・現場等での省エネルギー活動の推進 ◇建物運用段階におけるCO2の排出抑制 <ul style="list-style-type: none"> ・環境配慮設計の推進 ・技術開発の推進 	<p>建設副産物対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇産業廃棄物目別の対策 <ul style="list-style-type: none"> ◆建設発生木材 ◆建設汚泥 ◆建設混合廃棄物 ◆その他の建設廃棄物 ◇建設発生土の対策 	環境保全	<p>地球温暖化対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇施工段階におけるCO2の排出抑制 <ul style="list-style-type: none"> ・会員企業等への啓発 ・CO2排出量削減活動実績の把握 【目標】 CO2排出量を2010年度までに12%削減 <ul style="list-style-type: none"> ※1990年度基準・原単位 ◇建物運用段階におけるCO2の排出抑制 <ul style="list-style-type: none"> ・発注者等への協力要請 ・CO2計画排出削減量の定量的把握 	<p>建設副産物対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇産業廃棄物目別の対策 <ul style="list-style-type: none"> ◆建設発生木材 【再資源化等率を2010年度までに95%】 ◆建設汚泥 【再資源化等率を2010年度までに75%】 ◆建設混合廃棄物 【排出量削減を2010年度までに50%】 ※2000年度基準 ◆その他の建設廃棄物 ◇建設発生土の対策 <ul style="list-style-type: none"> 【発生土利用率を2010年度までに90%】
<p>生態系保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇施工段階における生態系保全の推進 	<p>有害物質・化学物質対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇改修・解体工事における対策 <ul style="list-style-type: none"> ◆石綿 ◆PCB、フロン、ダイオキシン等 ◇新築工事における化学物質対策 	<p>生態系保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇施工段階における生態系保全の推進 	<p>有害物質・化学物質対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇改修・解体工事における対策 <ul style="list-style-type: none"> ◆石綿 ◆PCB、フロン、ダイオキシン等 ◇新築工事における化学物質対策 	

<p>環境配慮設計の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇建築部門における環境配慮設計の推進 ◇土木部門における環境配慮技術の提案の推進 <p>グリーン調達</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇重点グリーン調達品目の設定と調達促進 <p>環境保全技術活用の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇環境保全技術全般の整備と活用の促進 	環境配慮	<p>環境配慮設計の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇建築部門における環境配慮設計の推進 ◇土木部門における環境配慮技術の提案の推進 <p>グリーン調達の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇重点グリーン調達品目の設定と調達促進 <p>環境保全技術活用の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇環境保全技術全般の整備と活用の促進
---	-------------	--

建設業の地球温暖化防止対策とフォロー状況

□ 建造物のライフサイクルにおける環境配慮項目



□ 建物運用段階におけるCO₂の排出抑制および建築部門における環境配慮設計の推進

《目的》

- 計画・設計段階におけるCO₂排出量の削減に向けた自らの活動を展開するとともに、設備メーカーやエネルギー供給業者等の関連業者との連携、発注者等への積極的な働きかけを図り、排出抑制に努める。
- 環境配慮設計に関わる技術・手法の開発、改良を促進するとともに、設計結果を評価するCASBEE等の利用推進に努めることにより環境配慮設計を定着させる。

《実績》

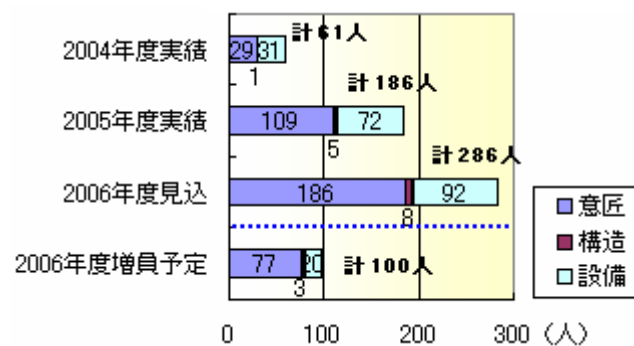
① 計画・設計段階におけるCO₂排出量の削減

2005年度に設計された建物(非住宅、2,000㎡以上)の省エネルギー計画書調査を実施
 対象: 建築業協会設計部会 23社、集まったデータ: 557件 (事務所等 79件、店舗等 59件など)
 エネルギー消費量は省エネ法基準値(平成11年基準)の73% (27%削減)
 CO₂排出削減量は推定 18万トン(省エネ法基準値を±0として)

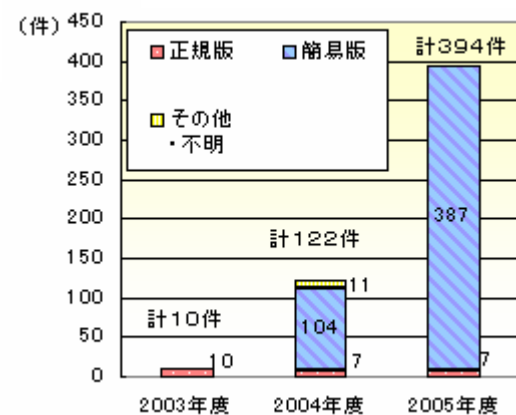
② CASBEE(建築物総合環境評価システム)の利用推進

会員会社の取組状況

CASBEE 評価員数の推移



CASBEE 評価件数の推移



会員企業の実施活動

- ライフサイクルCO₂(LCCO₂)の削減に向けた省エネルギー、省資源および長寿命化を取り入れた環境配慮設計の推進
- 環境負荷の少ない施設運用に向けた運用管理者や利用者への説明の充実
- 関連企業との連携による環境配慮設計に関わる技術の開発、改良の推進
- 設計段階におけるCASBEE利用の推進

3団体の実施活動【会員企業への啓発】

- 環境配慮設計の採用に向けた発注者等への協力要請
- 省エネルギー法のPAL/CEC等の数値によるCO₂排出削減推定量の継続的把握
- 会員企業のCASBEE利用実態の把握、公開

□ 施工段階におけるCO₂の排出抑制

《目的》

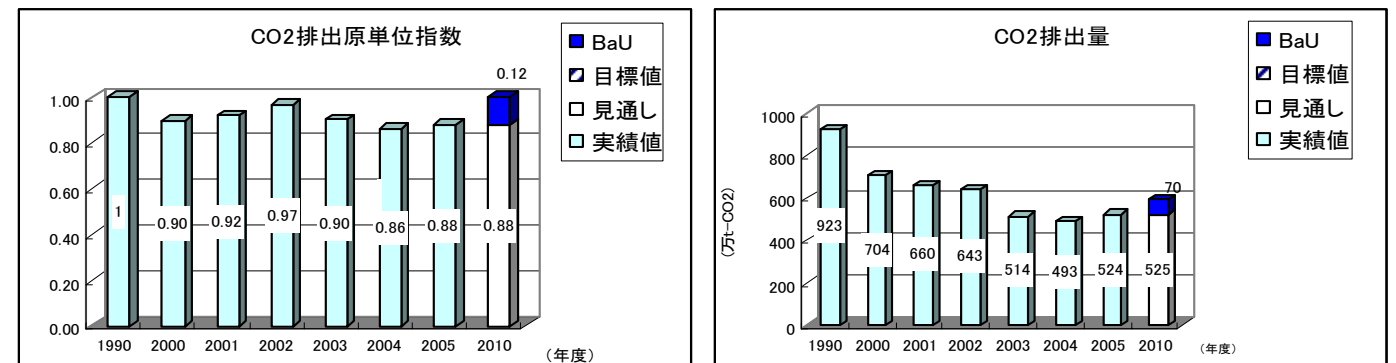
施工段階におけるCO₂排出量の削減目標を掲げ、その実現に向けて自ら行動を展開するとともに、協力会社・関連業界との連携、発注者側への積極的な働きかけを図り、目標達成のために努力する。

《目標》

CO₂排出量を2010年度までに12%削減する

《実績》

2005年度 排出量原単位 11.9%減少 総排出量 43.3%減少



会員企業の実施活動

- 建設発生土の搬出量の削減および搬送距離の短縮
- アイドリングストップおよび省燃費運転の促進
- 重機・車両の適正整備の励行
- 省エネルギー性に優れる工法、建設機械・車両の採用促進
- 高効率仮設電気機器等の使用促進
- 現場等での省エネルギー活動の推進

CO₂排出量調査について

- ◆調査項目: 排出量調査、削減活動調査
- ◆調査方法: サンプル調査
- ◆サンプリング数(2005年度)
 参加会社 : 24社
 調査現場数: 排出量調査 914現場
 削減活動調査 780現場

3団体の実施活動【会員企業への啓発】

- 省燃費運転研修会の実施 (2002年度より全国で17回開催: 延べ参加人員1,046名)
- 省燃費運転ポスターの作製・配付
- 省燃費運転ビデオの作成・配付 (トラック編、油圧ショベル編)
- 「絵で見る省燃費運転マニュアル」の発行
- 「建設工事における地球温暖化対策事例集」の発行
- 「温暖化防止対策リーフレット」の発行 (作業所編、トラック編、油圧ショベル編、クレーン編、重ダンプ編)
- 日建連ホームページにて「CO₂排出量かんたんチェック」を公開



絵で見る省燃費運転マニュアル



建設工事における地球温暖化対策事例集